

太宰府中学校 | 学年だより

No.23

R6.2.26

文責：学年主任

職業実践講座



先週の22日に、「職業実践講座」が行われました。
太宰府中学校では、3年間をとおして「進路学習」を実践しています。

- ・1年生（職業実践講座）→働く人々と直接関わり、様々な職業について学びます。
- ・2年生（職場体験）→皆さんが職場に行き、職場の人々と共に働くことで、働くことの大切さを学びます。
- ・3年生（高校1日体験）→皆さんが高校に行き、高校生活を体験することで、中学校卒業後の進路選択の参考にします。

皆さんは、早くて2年後には社会に出て働くことができます。高等学校を卒業して、あるいは大学を卒業して働く人もいます。

「人はどうして働くのか、おうちの人はなぜ働いているのか、なぜ私たちは働けないのか…」
このようなごく当たり前のことを尋ねられたとき、果たして皆さんはすぐに答えられますか。

誰でも社会に出れば、働かなければなりません。働く前に必要な準備はたくさんあります。
健康で働ける体力・辛いことにも乗り越えられる精神力・働く際に必要な知恵、技術…
そして、あなた自身の「良さ」「持ち味」が活かせる仕事であるかを見極める力が必要です。
中学生のうちから、これらの力を早めに見つけて、準備することは決して早くありません。

今回、1年部の先生方で、知り合いの方に何度も連絡を取り、たくさんの人々の力を貸していただいて、今回のような学習活動を実施することができました。地域の事業所（職場のこと）の方に相談したところ、お忙しい中にもかかわらず快く引き受けてくださいました。今回、8種類の事業所の方に来ていただき、たくさんの体験活動を行うことができました。

皆さんが事前に考えた質問にも一つ一つ丁寧に答えくださったり、高価な機材や道具を、皆さんに直接触らせてくださったりと、普段ではなかなかできないことをたくさん体験させていただきました。あっという間の1時間だったことでしょうか、本当によかったですね。

事業所の皆さんは、異口同音（多くの人がみな口をそろえて、同じことを言うこと）におっしゃっていたことは、皆さんの態度がとてもすばらしかったということです。

聞く態度や、質問の多さや、活動に一生懸命取り組む姿を見て、とても充実した時間を過ごすことができましたと仰っていました。さすが皆さんですね。先生もとても嬉しくて、この活動を準備してよかったと心から思いました。

また、事業所の方は「将来仕事を選ぶときは、今日の学んだことをぜひ思い出してください。」とも仰っていました。ご自身が紹介されたお仕事についてほしい気持ちもありながらも、仕事をすることのやりがいや意義を伝えられたかなとも仰っていました。

今回の「職業実践講座」で「人が働く理由」についてあなたなりの答えを見いだせたでしょうか。

そして何より、皆さんのために働いていらっしゃるおうちの方に、今回の学習を通して学んだことをかみしめながら、「いつもありがとう」の言葉を伝えられたでしょうか。

⑧職業実践講座での活動の様子



歯科医；Kさん

歯科医の仕事について説明を受けた後、歯型をつくったり、歯の治療の一部を体験したりしました。
見たこともない機材を使った体験で、皆熱心に取り組んでいました。



実業家；Hさん

「吉開のかまぼこ」を再建させた実業家で、その実績から多くのメディアから注目されて、テレビ番組にも出演した有名人です。
会社経営の難しさや商品開発などの話を熱く語ってくれました。



美容師；Kさん

美容師の仕事について説明を受けた後、先生をモデルにしてヘアアレンジの施術を見せてもらいました。
ワンタッチの施術で見事に変わるヘアスタイルに、皆驚愕していました。



警察官；M

警察官の仕事について説明を受けた後、指紋採取の体験活動を行いました。
本物の刷毛を使った作業はまるで「科捜研の〇」を彷彿させるようなものでした。自分の指紋は採取できましたか。



販売員；Mさん・Tさん

デパートで化粧品販売の説明を受けた後、K先生をモデルにして、フルメイクをしていただきました。メイクをするまえと後の変化の違いに皆さんも驚いたと思います。益々メイクに興味をわきましたか。



消防士；Hさん

消防士の仕事について説明を受けた後、実際の訓練の一部を体験しました。
消防士になるための条件や仕事内容、救急訓練を教えてくださいました。意欲が高い元気の良い学習態度に感心していらっしゃいました。



自衛隊；Iさん

自衛隊の仕事について説明を受けた後、号令訓練や迷彩メイクなどの自衛隊特有の体験訓練を行いました。制服がびしょときまった自衛官の方の立ち姿を見て、憧れた人もいたのではないのでしょうか。



写真業；Kさん

写真業の仕事について説明を受けた後、望遠カメラやズームカメラを使ってシャッターを押す体験活動を行いました。また、皆さんの質問に丁寧に答えさせていただきました。シャッターチャンスできたかな。

保護者の皆様

先日は、ご多用な中に授業参観・学級懇談会にご出席いただきありがとうございました。

裏面に、3月の行事と、学級懇談会で話題にあがったことをあげさせていただきます。

お子様との話に添えていただけるとありがたいです。

*後期期末考査および学力診断テストの結果は先週配付しています。

□学級懇談会で話題にあがったこと



- もっと勉強してほしい。ミチザネノートを見ると、単語を書いているだけで、果たして自分の身になっているのか、効果的な学習をしているのか心配です。
- 机の上や部屋が散らかっていて、片付けないので困る。整理整頓してほしい。
- 期末考査が終わって、気が抜けているようです。
- 期末考査が終わって、できなかったところが相当悔しかったようで、よく勉強するようになってきました。
- 学校からの配布物（学年通信・学校からの連絡など）がなかなか行き渡りません。自然教室の写真販売も知らなかったです。学校で配られたものは、親にきちんと渡してほしいです。学校で何があるのかわからないので困ります。
- 小学校とは違って、学校の話あまりしなくなったようです。
- スマートフォンの使い方に悩んでいます。親と約束しても守らずに、部屋に持って行きます。SNSのことも心配です。
- 宿題をたくさん出してほしいです。

コロナ禍で、これまで当たり前のように実施していた懇談会が途絶え、今回、4年ぶりに懇談会を実施する運びとなりました。

保護者の皆様には、夏の個人面談以来の担任との会話でしたが、いかがでしたか。また、教科の参観授業をご覧になって、どのような感想をもたれましたか。

中学校の授業は、従来の知識伝達を中心とした学習形態から、ICT機器（タブレット・実物投影機・映像資料）等を活用したり、生徒どうしの意見交流を重視したりする学習形態に変わってきています。今回参観されて、保護者の皆様が中学校時代に受けた授業形態と異なることに驚かれたかもしれません。

個々の生徒の考えを交流し合う学習には、日頃からの「学びの積み重ね」が大切です。スマートフォンから流れる一方的な情報に振り回されず、自分の頭と心で「何が正しいのかそうでないのか」を考える力、それを相手にわかりやすく伝える力が今後大切になってくると思います。

1年生としての学校生活もあと1ヶ月となりました。今度、先輩として新入生の「よき手本」となり、個人としても集団としても、先輩らしく落ち着いた学校生活を過ごしてほしいと願っています。

